

道内の鉄道文化発展の地 **三笠**

三笠鉄道村新聞

発行 者 織 優
山 歩 優
杉 吉 山 本 みのり

道内初の幌内鉄道

私たちは本を讀んでいる。二階には、未来の鉄道と、三笠の鉄道博物館のことについてや、北海道新幹線に使われていた時刻表や刺した。未来の鉄道は、チンチン型もあつた。義経号などの横型、ニュータイプの鉄道の型もあつた。義経号は、並行して見ると、風のよう等重の原に編成されている。横型を見る、風のよう最上等車は「開拓使号」は、また、2016年に明治44年(1881)の明きた北海道新幹線の模型客車だ。開拓使号として使われた。おもしろい。展示していらして、アメリカ製を輸入して、展示していらした。

知って楽しい... 鉄道用語

カマ... 蒸気機関車のこと。ボイラーをカマといひ、ボイラーが車体のほとんどをしめるため、こう呼ばれている。

カレチ... 列車内で働く、乗車専用車しよ、意味する。旅客列車長(り)よかくれっしや(う)を短かくしたもの



実際にSLに乗車 鉄道の歴史

鉄道記念館の外には、色々な列車やSLが展示されている。その中のS-304号には、実際に乗車することができた。

SLは大きな丸煙をならし、モクモクと蒸気をあげて、ぐんぐん走りだした。私達が乗ったSLは、1939年に造られた産業用機関車で、国内では最後まで現役で働いていた機関車の一つ。にモカかわらさ、現在でも運行している。車内に来て、昔々タイムスリッパしたかのような気持ちになった。SL列車の展示は屋外作ね付きのところもあるにあり、たくさん車両が展示されている。ぜひこの新聞を讀んでください。ているみなさんにも、三笠の鉄道村に行き、北海道の鉄道のはじまりを知り、そしてSLにもぜひ乗ってみたい。

～展示されているSLたち～



・S-304 ・59609 ・C122
どれも近くでみる事ができる。乗車できるのは一番左のS-304

SLに乗車した時にもう一つ、300円でSLに乗ることができる。

幌内鉄道
三笠鉄道記念館 → 300円
発行当日限り有効
三笠鉄道記念館発行

まとめ

私達がこの新聞をつくる前までは、あまり鉄道のことには知らなかった。でも、鉄道についての本を讀んだり、三笠の鉄道村に行き、たこと、北海道の鉄道の歴史について知ることができた。最近、北海道ではいじになる路線が多い。たくさん人の努力も協力もつづいている北海道の鉄道の歴史がなくならないようす、ていまたいと思つた。

Q 幌内鉄道ができたころ、北海道で初のものがもう一つできた。それは何?

A 電話
汽車を走らせるには遠くにある駅と遠くを取り合う必要がある。札幌→幌内間に北海道初の電話が開通した。

Q 幌内鉄道が開通したころ(1922年札幌から幌内まで、)かかった時間は、およそどのくらい?

A 3時間
昔はSLの速度もおそく、SLを動かすのに必要な石炭・水をつんだりもしていたので、時間がかかった。駅にとまっていた時間も15分と、のんびりした運転だった。

Q 北海道で初めて誕生した特急列車の名前は?

A おおぞら
1961年に運転をスタート。最高速度100キロの車両を使い、8時間ほどかかっていた函館→旭川間は、6時間半へと短縮した。

Q 約130年前、ここ幌内に通じた幌内鉄道は日本で何番目にできた鉄道?

A 日本では3番目に北海道では初の鉄道で明治15年(1882年)に通じた。

Q SLの弁けい号は、子供達から何とよばれていた?

A ポーガランガラン
えんとつのはろについていたがねをガランガランと鳴らして走っていたから。